

湘南医療大学 ティーチング・ポートフォリオ

大学名 湘南医療大学

所 属 薬学部医療薬学科

名 前 加藤 英明

作成日 2026 年 4 月 28 日

1. 教育の責任

誓い「私は、湘南医療大学薬学部に 2022 年 4 月に着任し、2026 年度までに自身が担当する科目は薬学部 2 年前期「公衆衛生学 (選択)」、2 年後期「放射化学 (必修)」、3 年前期「衛生化学Ⅰ (必修)」、3 年後期「衛生化学Ⅱ (必修)」、3 年後期「衛生化学実習 (必修)」、4 年前期「衛生化学Ⅰ (必修)」である。

いずれも科目責任者として、大学において最も大切である教育に尽力する責任がある。教育に携わる者として、日ごろから新しい知識の修得、講義への熱い情熱を持ち続ける責務がある。教育に携わる者として、最大限の努力で責務を果たすことをここに誓います。」

2. 私の理念・目的

1) 私の理念

大学において最も大切なのは教育との信念を私自身が有している。学生にとっては、薬剤師国家試験に合格し薬剤師になることが目的である以上、私の目的も学生に薬剤師として将来は様々なフィールドで活躍し、多くの患者さんの助けとなり、社会にも多大な貢献を果たす薬剤師になっていただきたい。また、単に薬剤師になって欲しいのではなく、知識・技能・態度、そして個性を備えた親切第一な薬剤師になって欲しいと願っている。私自身も知識・技能・態度、そして個性を絶えずしっかりと磨いていくことを理念としている。6 年間制の薬学部においては、6 年間の積み重ね、すなわち習慣が大事である。学生には、きちんとした生活習慣を身に着けたうえで勉強習慣を早い段階から持っていただくよう期待する。

2) 理念をもつに至った背景

学生には大学時代に多くのことを学び気づいて、経験して欲しいと願っている。特に最高学府である大学においては、人生経験の浅く未熟な部分も多い学生には教育が大事との理念を抱くに至った。薬剤師は、多くの患者さんと最も接する機会の多い職種であると考え。また、病院や薬局だけでなく行政などにも関わることによって薬剤師の地位向上が重要であると考え。現在よりもさらに地位向上には、大学時代の教育、そして将来に繋がる教育が重要と考えるに至った。大学教育の中で苦しんでいる患者さんへの心の対応に最も大切なコミュニケーション能力も高めて欲しい。そのためには、知識・技能・態度、そして個性を十分に備えて欲しいと願っている。

3. 教育の方法・戦略

講義では、読解力も含めた教科書での勉強を軸とし、且つ要点をまとめた講義資料、そして演習問題で実践的な学修を行うことがバランスの取れた良い教育と考えている。教科書は、深い知識の修得ができ、自身で情報の取捨選択をする力が身に付き、また全体を理解することが可能である。要点をまとめた講義資料は、重要事項の確認が可能であ

る。演習問題は、CBT や国家試験を勝ち抜く力を身に付ける。これらを念頭に置いた講義・実習の準備を以下のように行っている。

- ・講義資料:教科書では示しきれていない要点をまとめ、図表も多く取り入れるようにしている。演習問題なども付記し、予習復習に効率よく臨めるよう工夫している。
- ・補足資料:講義で用いるスライド(パワーポイント)では、写真やトピックスを多く取り入れるようにして、学生の興味・関心が抱けるよう心掛けて作成している。
- ・講義:ホワイトボードを活用し、学生と対話しながら進めていけるよう工夫している。できるだけ授業開始前に記載するようにもしている。
- ・試験:学生が広く一生懸命に勉強するよう、多くの問題を出題することを学生に伝えていく。また、ある程度の範囲で出題の傾向も伝え試験前に何を優先的に勉強するべきか指導している。
- ・授業アンケート:アンケートの自由記載事項などは真摯に受け止め、改善するように心掛けていく。
- ・衛生学の講義・実習:生命や健康を衛ることを信条とする衛生学の講義・実習では、衛生の重要性が伝わるような補足解説なども充実するよう心掛けていく。自身が過去に法医学教室で死因究明にも携わっていたことから、実際の事案なども可能な範囲で伝えるようにしている。
- ・放射化学の講義:教室内の放射線測定や資料を提示することで学生の興味・関心を高めるよう工夫している。

4. 学習成果

- 1) 学生からはある程度良い授業評価をいただけたが、評価に囚われることなく学習成果として残る講義・実習を更に心掛けたい。
- 2) 衛生学に関する発表・模擬講義など地域貢献にも繋がる多くの機会を得ることができた。更に機会をいただけるようにしていきたい。
- 3) 定期試験の結果をみると学修成果が十分でない学生も一部みられた。学修成果が十分でない学生への対応を今後考えていきたい。
- 4) プレ卒業研究では、学生の興味・関心のある衛生系のトピックスについて取り入れてきた。より学修効果が得られるよう調査方法など模索したい。

5. 改善のための努力

- 1) 授業アンケートでいただいた自身の講義についての貴重な意見を真摯に受け止め対応していく。ホワイトボードの字の大きさ、声の大きさについても指摘を受けたことがあったため、自身で見直し、改善するよう努力する。
- 2) 最新の情報を取り入れた見やすいカラーに年々ブラッシュアップしていくよう努力する。

6. 今後の目標

医療を志す薬学生にとって最も大切な学問は、個人的には生命や健康を衛る(まもる)ことを信条とする「衛生学」、とりわけ「公衆衛生学」と感じている。薬学部 4 年生が今年度 CBT 受験を迎えるが、衛生学の領域で好成績を修められるように補講などを積極的に行い、努力を惜しまず尽力していきたい。更には、薬剤師国家試験の鍵を握る科目が「衛生」との思いがあるため、学部生には「衛生」を中心に勉学に励むよう伝えたい。将来的には、衛生で学んだことを卒後に大いに役立てられるような講義・実習に工夫していく。教育に携わる者として、日ごろから新しい知識の修得、講義への熱い情熱を持ち続けたい。

【参考資料】(本学着任の2022年度より)

＜シラバス(責任者科目のみ)＞

- ・薬学部 2 年前期:公衆衛生学(選択)
- ・薬学部 2 年後期:放射化学(必修)
- ・薬学部 3 年前期:衛生化学Ⅰ(必修)
- ・薬学部 3 年後期:衛生化学Ⅱ(必修)
- ・薬学部 3 年後期:衛生化学実習(必修)
- ・薬学部 4 年前期:衛生化学Ⅲ(必修)

(シラバス 2026 年度) https://sums.ac.jp/download/department/pharmacy_syllabus.pdf

＜著書(教科書執筆)＞

加藤英明. 公衆衛生学(第2部)衛生化学詳解(上・下)改訂第4版(京都廣川書店), 2026.3 発刊.共同執筆

加藤英明, 曾川甲子郎:依存性薬物. 図解 薬害・副作用学改訂3版(南山堂), p122-134, 2023.4 発刊.分担執筆

＜論文等＞

Hideaki Kato, Yoshimi Ichimaru, Masaaki Kurihara, Koushirou Sogawa, Masahiko Funada, Tsutomu Suzuki. Possible Involvement of Hallucinogenic Effects in the Aversive Effects Induced by Kappa-Opioid and 5-HT_{2A/2C} Receptor Agonists in Mice. *Neuropsychopharmacology Reports* 45 e70075, 2025.

Ryuichiro Hosoya, Kento Kitajima, Koushirou Sogawa, Daigo Ikegami, Tomoko Terajima, Hideaki Kato, Masahiko Funada, Hajime Kagaya, Yoshihiro Uesawa. Principal component analysis of antiseizure medication-induced hostility/aggression and factor analysis of levetiracetam using the food and drug administration adverse event reporting system. *Epilepsy Research* 218 107626-107626, 2025.

加藤英明, 曾川甲子郎, 細谷龍一郎, 清水典史, 浅野 哲, 加賀谷 肇, 鈴木 勉:医療用麻薬が関わる医療事故およびヒヤリ・ハット事例調査. 神奈川県公衆衛生学会誌 71 49-51, 2025.

清水典史, 加藤英明:神奈川県の薬物乱用防止教室実施状況と課題. 神奈川県公衆衛生学会誌 71 67-69, 2025.

Koushirou Sogawa, Koichi Kato, Makoto Sano, Tomoki Nakayoshi, Hiroki Yoshioka, Hideaki Kato, Akifumi Oda, Masahiko Funada, Tsutomu Suzuki, Masaaki Kurihara, Yoshimi Ichimaru. Indirubin

derivatives bearing an oxirane moiety are promising chemosensitizers for combination treatment in pancreatic cancer. Medicinal Chemistry Research, 2025.

Yoshimi Ichimaru, Koichi Kato, Koushirou Sogawa, Daichi Egawa, Hideaki Kato, Kazuaki Katakawa, Wanchun Jin, Masaaki Kurihara, Hiromasa Kurosaki. Synthesis and Anticancer Activity of Bis(2-picolyl)amine Derivatives with a Biaryl Moiety as a Photosensitizer. Chemistry 7(2) 41-41, 2025.

加藤英明, 曾川甲子郎, 細谷龍一郎, 浅野 哲, 鈴木 勉: 神奈川県におけるコロナ禍とメンタルヘルスに関するデータ解析. 神奈川県公衆衛生学会誌 70, 2024.

曾川甲子郎, 加藤英明: 神奈川近郊の河川・海域における薬剤耐性菌に関する実態調査. 神奈川県公衆衛生学会誌 70, 2024. (発刊予定)

鈴木 勉, 加藤英明, 舩田正彦: 日本における薬物の乱用, 依存の現状と問題点. ペインクリニック 45(8), 839-846, 2024.

Sogawa K, Tagishi H, Kato H, Shibata T, Miura T. Novel sterilization method of Bacillus atrophaeus and Geobacillus stearothermophilus spores by low concentration chlorine dioxide gas. J Microorg Control. 29, 153-156, 2024.

加藤英明, 曾川甲子郎, 鈴木 勉: 神奈川県における飲酒状況と肝機能の年次推移に関する解析. 神奈川県公衆衛生学会誌 69, 49-51, 2023.

曾川甲子郎, 加藤英明: 神奈川県における環境水中薬剤耐性菌の存在実態. 神奈川県公衆衛生学会誌 69, 33-34, 2023.

鈴木 勉, 加藤英明: 幻覚物質の評価 (嫌悪効果) に関する調査. 令和 4 年度厚生労働科学研究費補助金「指定薬物の指定に係る試験法の評価検証に資する研究」分担研究報告書, 16-23, 2023.

加藤英明, 曾川甲子郎: 神奈川県における BMI および生活習慣に関する調査ー特定健診查に基づく解析ー. 神奈川県公衆衛生学会誌 68, 38-40, 2022.

曾川甲子郎, 加藤英明: 抗菌薬の処方動向から推定する神奈川の水環境汚染に関する調査. 神奈川県公衆衛生学会誌 68, 22-23, 2022.

以上